

2018年12月号

衣類のお手入れ通信

12月はいろいろな柑橘類が旬を迎え、にぎやかに店頭を飾ります。リンゴや洋梨をはじめ、大玉の和梨、柿、クリスマスシーズンにはイチゴも出回り始めます。最近の報告では、健康な人が適量の果物を食べると冠動脈疾患などのリスクを下げられるとか。この年末は「こたつにミカン！」で良いお年をお迎えください。

【防災加工の衣料品のさらなる進化】

今の時季は湿度の低下や暖房器具の使用などで、火災が心配になりますね。近年は建物や寝具類にいたるまで防災性能あるいは難燃性能を持たせたものが多く、より安全になってきています。しかし、私たちが直接身に着けるものはどうでしょう。せいぜい防災頭巾くらいでしょうか。

これまで防災性能のある衣料品を市場で見かけることがなかったのには訳があります。防災性や難燃性が施された繊維は加工剤の特性で表面が固く、ゴワゴワしています。そのため肌触りや着心地が悪く、衣料品として優れているとはいえませんでした。また吸水性が低く、汗をかきやすい夏場には不向きでした。そして防災加工された製品の最大の欠点は、洗濯を繰り返すと防災機能が薄れてしまうことです。従来の製品は洗濯すると防災性能が国の基準値を満たさなくなるため、再加工が必要でした。

しかし今年の夏、T・Sトレーディング社（愛知県一宮市）というアパレルメーカーが画期的な防災機能の高い衣料品を開発しました。その名も「moenain（モエナイン）」。T・Sトレーディング社は難燃性アクリル繊維に綿、麻、羊毛といった天然素材を混紡し、燃えにくい素材でありながら肌触りを良くし、吸水性も高めることに成功しました。それだけではありません。天然素材を混紡することによって、洗濯を繰り返しても防災性が長持ちします。現在、取り扱っているアイテムはカーディガン、エプロン、パジャマ、マルチクロスなどを含めた約80品目で、ネット販売を行っています。

ちなみに防災加工及び難燃加工製品はあくまでも「燃えにくい」ことを指し、絶対に燃えない製品ということではありません。ですが火災は、ほんの数秒が生死を分けます。防災加工製品を生活に取り入れることによって、調理中の衣服への着火や寝たばこによる事故を少しでも防ぐことができれば幸いですね。

定休日：日曜日・祝日 営業時間：7時30分～19時

〒496-0901 愛知県愛西市佐屋町新田1-6 TEL・fax0567-26-9880 <http://105-929.com>

発行者：東郷俊博

愛知県愛西市、弥富市、蟹江町、飛鳥村、津島市、集配致します。